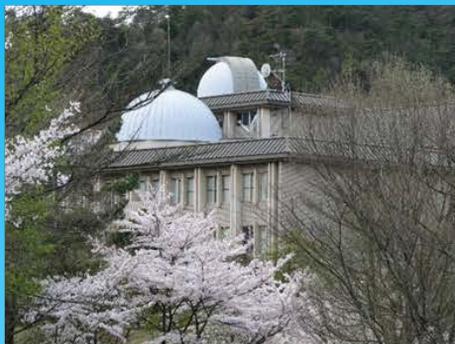


令和3年度（2021年度）

要覧

創立50周年記念



滋賀県総合教育センターは、今年度で創立50周年を迎えました。これからも自ら学び続ける子どもを育てるために、明日のやる気につながる研修事業・研究事業・学校等支援事業・相談事業を通して、教職員の実践的指導力や専門性の向上を図り、「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」を目指します。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が共通した
「持続可能な開発目標」です



センターHP



滋賀県総合教育センター
Shiga Prefectural Education Center

「後世に成果を残すよりも人材を残す」

所長 猪田 章嗣



滋賀県総合教育センターは、令和3年(2021年)4月に創立50周年を迎えました。68年前の昭和28年(1953年)4月に当時の県庁南別館に設置された「滋賀県教育研究所」を母体として、昭和46年(1971年)4月に野洲の地で新たに「滋賀県総合教育センター」として発足以来、ちょうど満50歳を迎えたわけです。昨年度は、当センターにおいて教育センターの全国大会である「全国教育研究所連盟研究協議会(滋賀大会)」を、創立50周年記念式典を兼ねて開催させていただきました。また、懸案事項であった老朽化に伴うトイレ改修について、洗浄型を取り入れ、この機会に館内全てを洋式化しました。今年度につきましては、秋頃を目途に「創立50周年記念誌」を発行し、ホームページでも公開する予定をしております。

さて、一昨年度末から全世界が新型コロナウイルス感染症に振り回され、1年半近く経った現在も感染拡大が収まっておらず、予断を許さない状況が続いています。各学校園におかれましては、子どもたちの健康・安全に最大限配慮しながら、学習の機会を確保するために様々な御苦勞をされておられることと思います。当センターにおきましても、感染状況の変化を注視しながら、オンライン型と集合型の両方の形態を併用して研修事業・研究事業等を実施しているところです。

一方、GIGAスクール構想につきましては、図らずもコロナ禍において一気に導入が加速され、全ての小・中学校で一人一台端末環境が整いました。しかし、目の前の子どもたち一人ひとりの机の上に文房具のようにある端末を、どのように授業で活用すればよいのか、教員の授業構想がなかなか追いついていない現状があるのではないかと思います。

当センターとしましては、各市町・関係機関等と連携しながら、全ての研修事業・研究事業等において一人一台端末環境を前提に、常にそれを意識して進めてまいります。

また、新しい学習指導要領が、昨年度の小学校に続き、今年度から中学校でも全面実施となりました。高等学校についても教科書検定が終了し、来年度から年次進行での実施となります。今まさに、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することが求められています。これまでの教育実践を引き継ぎつつ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業を改善・工夫できるよう、現場のニーズを踏まえながら取り組んでまいります。

後世に成果を残すよりも人材を残す。先生方が担っておられる学校教育は、まさしく未来の社会を支える人材の育成であります。また、教職員の人材育成も、県教育委員会における最も大切な使命の一つであり、それを主に担っているのが滋賀県総合教育センターです。子どもたちに働き甲斐や魅力を感じて笑顔で頑張っている姿を見せられる教師になってもらえるよう、研修事業・学校等支援事業に取り組んでいくとともに、研究事業におきましても各学校の教育実践モデルとして普及できるよう、県教育委員会のブレインとして先進的・先導的な研究に取り組んでまいります。これからも、「学力と学ぶ力の両方を意識した学校教育」、「考えさせる授業と家庭学習のサイクル」を押さえながら、先生方の教育力向上・授業力向上をしっかりサポートしてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

歴代所長

滋賀県教育研究所

初代	西村栄次郎	昭28. 4~
2代	溝口成蔵	昭31. 1~
3代	大谷勇	昭31. 4~
4代	野崎欣一郎	昭31. 10~
5代	細谷雄次郎	昭32. 4~
6代	梅原與惣次	昭33. 4~
7代	仁志出基	昭35. 4~
8代	岩崎武	昭39. 4~
9代	小島市太郎	昭40. 4~
10代	中井重雄	昭42. 4~
11代	珠久鶴一	昭44. 4~
12代	国松佐三郎	昭45. 4~

滋賀県総合教育センター

初代	仁志出基	昭46. 4~
2代	藤村清一	昭51. 4~
3代	西村忠	昭54. 4~
4代	松山義夫	昭55. 9~
5代	吉村博雄	昭56. 4~
6代	古川康男	昭58. 4~
7代	三浦昭	昭61. 4~
8代	大塚陽一	昭63. 4~
9代	野村弘	平3. 4~
10代	北川一幸	平5. 4~
11代	山本富夫	平7. 4~
12代	文室温晴	平8. 4~
13代	岩本光恵	平10. 4~
14代	田附紀夫	平12. 4~

15代	三田俊雄	平13. 4~
16代	國弘正義	平14. 4~
17代	橋本源之助	平15. 4~
18代	中川法夫	平17. 4~
19代	馬場輝代	平18. 4~
20代	奥村敬一郎	平20. 4~
21代	中野正堂	平21. 4~
22代	北村清之	平22. 4~
23代	松村良樹	平24. 4~
24代	小林庄司	平26. 4~
25代	山仲幸	平27. 4~
26代	佐敷恵威子	平28. 4~
27代	小倉啓嗣	平30. 4~
28代	猪田章嗣	令2. 4~

滋賀県総合教育センター
イメージキャラクター



基本理念

取組の重点

子どもたちの「生きる力」を育むために、とりわけ今学校に求められていることは、子どもの学ぶ力を高め、確かな学力を身に付けるための授業づくりです。また、新学習指導要領への移行や「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業、ICTを活用した授業等、これからの学校教育を担う教職員の資質向上を一層図ることも求められています。滋賀県総合教育センターでは、喫緊の教育課題や学校現場のニーズに応じた研修事業や学校等支援事業を展開し、教職員の実践的指導力や専門性の向上を支援します。また、先進的・先導的な研究事業を推進し、研究成果の普及に努めます。

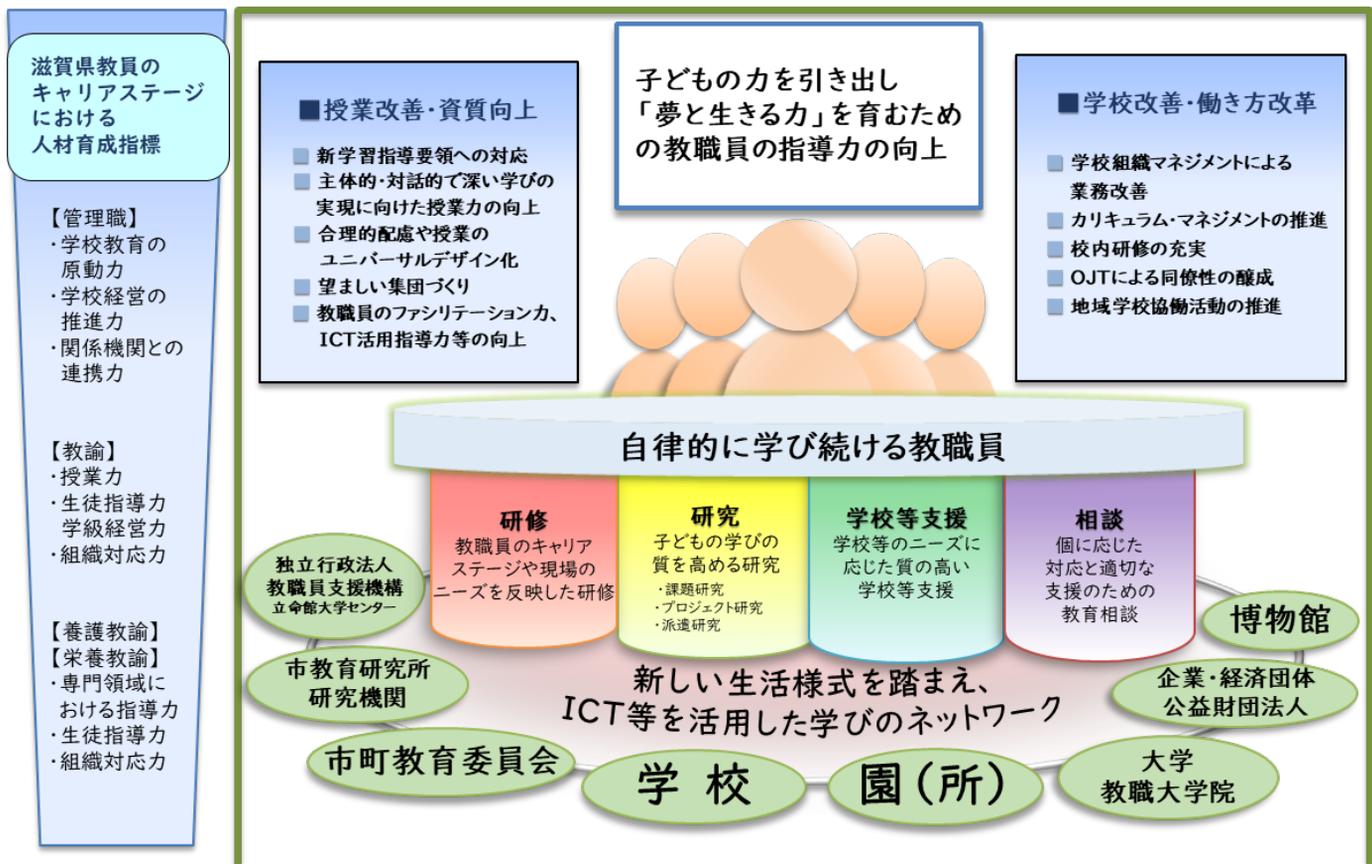
行動目標

- (1) 教職員のキャリアステージや現場のニーズを反映した「**研修事業**」
- (2) 子どもの学びの質を高める「**研究事業**」
- (3) 学校等のニーズに応じた質の高い「**学校等支援事業**」
- (4) 個に応じた対応と適切な支援のための「**相談事業**」



理念図

子ども一人ひとりの個性を大切にし、生きる力を育む

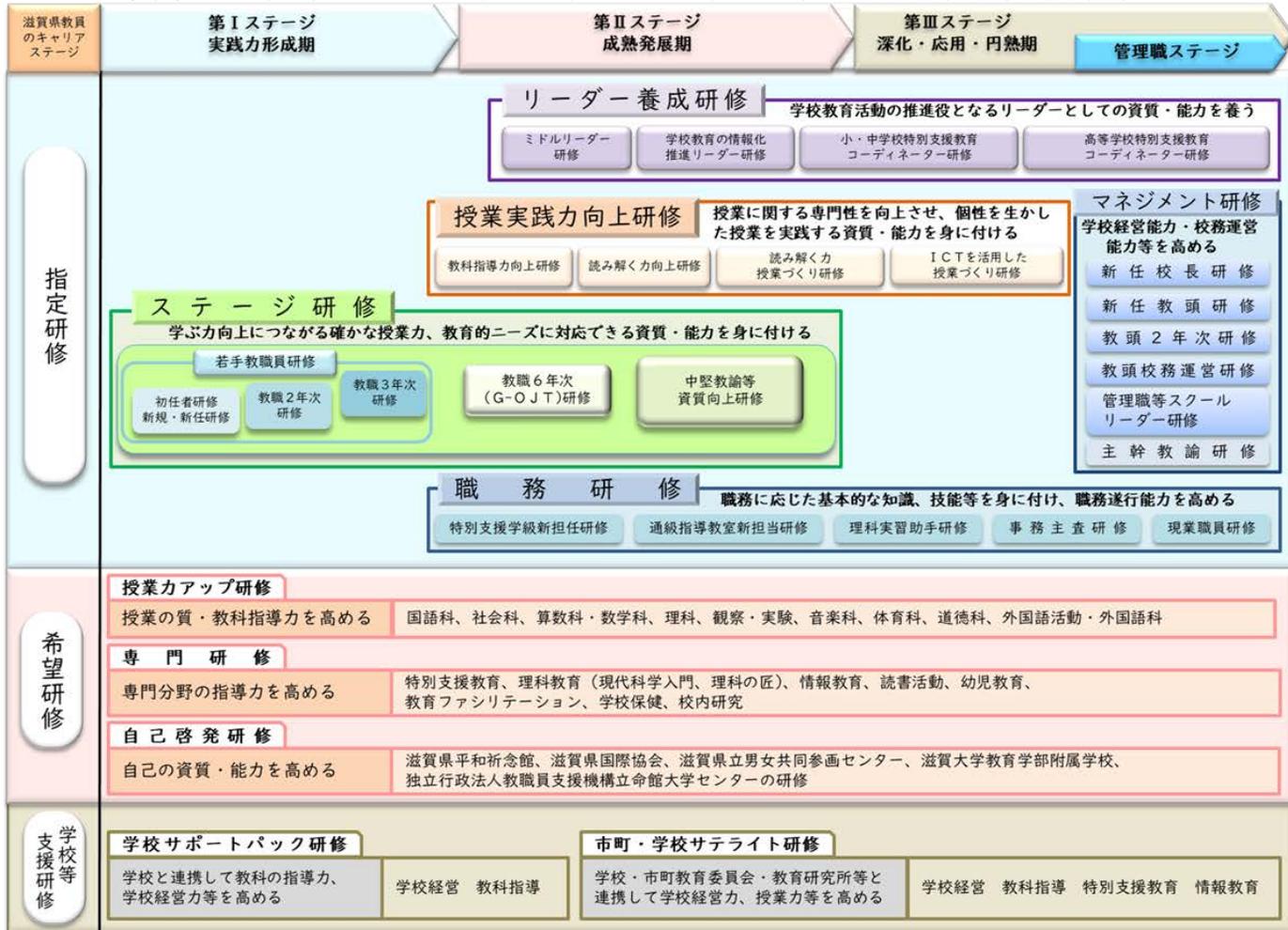


主 要 事 業

研修事業

教職員のキャリアステージや現場のニーズを反映した「研修事業」

滋賀県総合教育センター 研修体系図 - 自律的に学び続ける教職員を支援-



指定研修

協議や演習を活用し、系統性のある研修を行います。

希望研修

個々のニーズに応じて、専門性を高めます。

学校等支援研修

学校や市町教育委員会等と連携して、研修を行います。

子どもの学ぶ力の向上のために、自律的に学び続ける滋賀の教職員の皆さんを支援します。研修では、実践的指導力や個々のキャリアに応じた資質・能力の向上を目指します。



研究事業

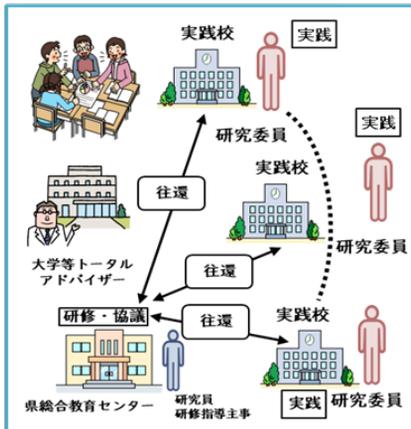
子どもの学びの質を高める「研究事業」



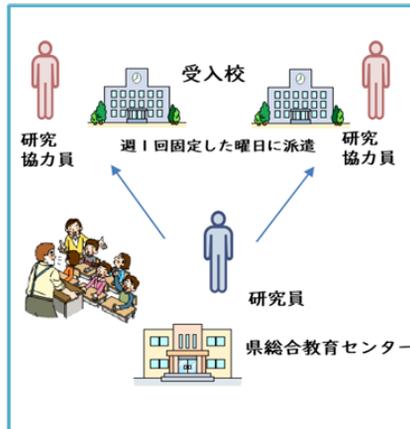
国の動向、県の課題を見据えた「研究事業」を推進することで、先進的・先導的研究成果を直接学校現場へ普及し、学校改善を支援します。



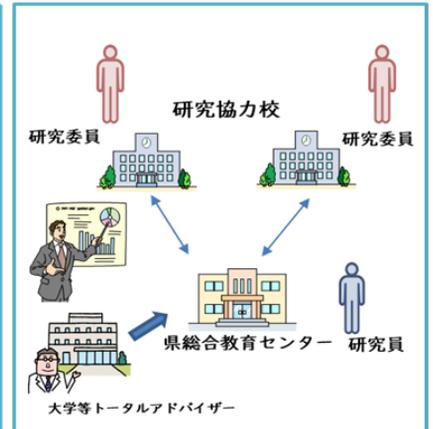
プロジェクト研究



学校派遣研究



課題研究



学校に寄り添う研究

- ～実践的な指導力の向上につながる指定校研究や喫緊の教育課題に応じた研究で、学校改善を支援する～
- ・ **プロジェクト研究**：研修と実践の往還による実践力の向上を目指す指導改善研究を実施する
- ・ **学校派遣研究**：研究員が毎週1日、受入校で勤務し、学校の課題に応じた学校改善研究を実施する（小学校：国語科・算数科）（**新** 中学校：道徳科）
- ・ **課題研究**：喫緊の課題に対応した先進的・先導的な教科・領域研究を実施する

プロジェクト研究

小・中学校	読み解く力に関する研究	「読み解く力」の育成に重点を置いた、全ての児童生徒が学びを実感できる授業づくりⅢ -ICTを効果的に活用し、児童生徒がよりよく「再構築」をすることを通して-
	1人1台端末に関する研究	小・中学校1人1台端末環境における児童生徒の情報活用能力を育成する授業づくりのあり方 -授業づくりのサイクルを軸とした校内研修による学習活動の充実-
	校内研究活性化に関する研究	小・中学校における全ての教員の授業改善につながる校内研究 -一人ひとりの教員の自律的な学びを支える組織的・継続的な取組の充実-
特別支援教育	特別支援教育に関する研究	特別支援学校における自分らしい生き方の実現に向けた取組の充実 -児童生徒が主体性を発揮する、ICT活用による実践を通して-

学校派遣研究

小学校	小学校国語科に関する研究	児童が語彙を豊かにし、自分の考えを形成することができる小学校国語科の授業づくり -語句に着目した「読むこと」の指導の工夫を通して-
	小学校算数科に関する研究	筋道を立てて考察する力の育成を目指す小学校算数科の授業づくり -1人1台端末の効果的な活用を通して-
中学校	中学校道徳科に関する研究	道徳的価値や人間としての生き方についての自覚を深め、自らの成長を実感できる中学校道徳科の授業づくり -個に応じた評価とフィードバックの組織的な取組-

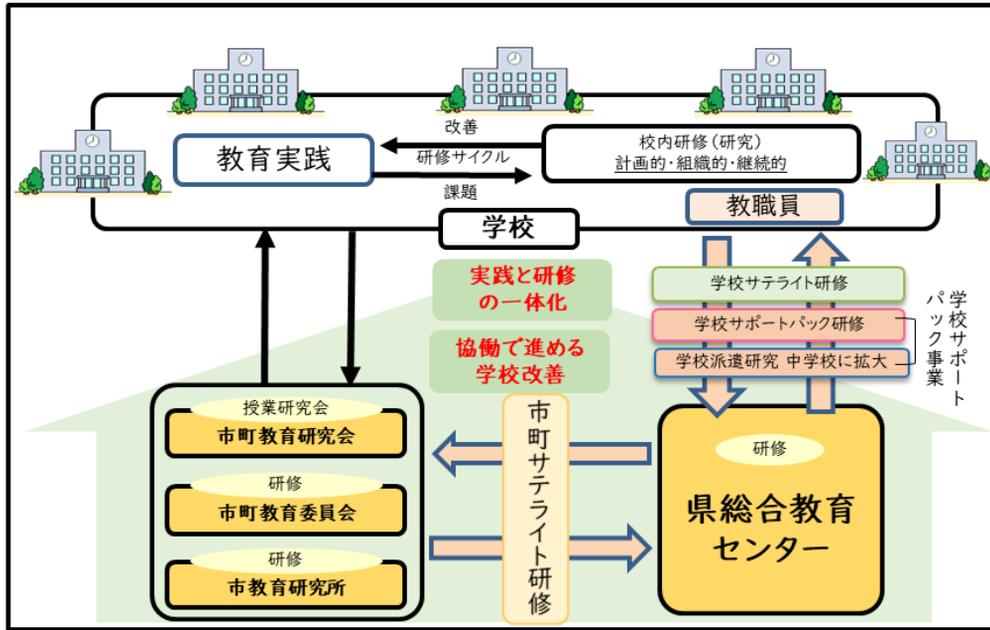
課題研究

小学校	小学校理科に関する研究	1人1台端末環境におけるデジタルコンテンツを活用する小学校理科の授業づくり -児童が理科の見方・考え方を意識的に働かせて問題解決の活動に取り組むために-
高等学校	高等学校理科に関する研究	効果的なICTの活用による思考の振り返りを重視した高等学校理科の授業づくり -思考を整理して再構築する力の育成を目指して-
	情報教育に関する研究	1人1台端末環境を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた高等学校の授業づくり -クラウドを用いた家庭学習での学びと授業での学びとの連携を通して-

学校等支援事業

学校等のニーズに応じた質の高い「学校等支援事業」

市町教育委員会・教育研究所、学校・園が行う教職員研修や授業研究会において、県総合教育センターが連携して研修を実施し、実践と研修の一体化を図ることによって子どもの学ぶ力の確実な定着につなげます。



学校サテライト研修
学校・園からのニーズに応じて、センター職員が出向き、支援を行います。

市町サテライト研修
センター職員が出向き、センターで作成した研修パッケージを活用することで、センター研修と同様の研修効果が期待できます。

学校サポートパック研修
市町教育委員会が指定する学校での授業研究会等に複数回センター職員が出向き、学校を丸ごと支援します。

学校派遣研究
センター研究員が、受入校に出向き、学校の課題に応じた学校改善研究を行います。

教育学習情報の発信

当センターホームページでは、日々の教育活動に役立つさまざまな情報を発信しています。

[滋賀県総合教育センター](#)

検索

<おすすめ情報>

- しが「読み解く力」研修動画
- 研究論文・研究成果物
- 学びの基礎チャレンジ
- ガッテン!!プリント
- 子どもの「学びの場」



相談事業

個に応じた対応と適切な支援のための「相談事業」

特別支援教育相談



学習面や生活面で困難な状況がある幼児・児童・生徒の特別支援教育に関する相談に、専門の相談員が具体的支援内容等を一緒に考えます。また、特別支援学級の担任や通級による指導の担当者等の授業づくりや個別ケースの指導・支援に関する相談に応じます。

- ・連絡先・・・TEL 077-588-2505 (教育相談専用)
- ・対象・・・本人(幼児・児童・生徒)・保護者・教職員 等
- ・方法・・・来所による相談、電話による相談
- ・相談日・・・月～金曜日(祝日、年末年始 等を除く)
- ・相談時間・・・9:00～12:30、 13:30～16:30

検査器具等の貸出しも行っています。

- ・WISC-IV知能検査
- ・WAIS成人知能検査
- ・KABC-II
- ・新版K式発達検査2001
- ・WPPSI知能診断検査
- ・DN-CAS認知評価システム
- ・WAVES(ビジョンアセスメント)
- ・多層指導モデルMIM「読みのアセスメント・指導」パッケージ
- ・マルチメディアデイズー図書など

昭和

- 28. 3 滋賀県教育研究所設置規定制定
- 28. 4 滋賀県教育研究所設置(大津市東浦 県庁南別館滋賀県教委事務局内)
- 31. 4 近畿地区教育研究所連盟に加入
- 32. 4 滋賀県学校以外の教育機関の設置に関する条例制定
- 32. 4 全国教育研究所連盟に加入
- 33. 9 滋賀県教育研究所基本規則制定
- 36.11 都道府県五大市教育研究所長協議会結成加入
滋賀会館に移転
- 38. 3 県庁南別館に移転
- 39. 6 大津県事務局内に移転
- 39. 3 滋賀県教育研究所の設置に関する条例制定
- 40. 4 滋賀県教育研究所基本規則改正
- 41. 1 県庁新別館に移転
- 41. 4 教育特別研修生制度制定、研究員として滋賀大(教)専攻科に1年間派遣
- 42. 3 滋賀県教育研究所基本規則改正(次長制、研究調査、教科研究係設置)
- 45.10 第1期工事(情報処理棟)着工(野洲町大字北桜)
- 46. 3 滋賀県教育研究所廃止
滋賀県総合教育センター設置および管理に関する条例制定
滋賀県総合教育センターの管理運営に関する規則制定
第1期工事竣工(情報処理棟)
- 46. 4 滋賀県総合教育センター設置
- 46. 7 第2期工事(本館研修棟)着工
- 46.10 中型電子計算機システム、数値制御工作機械および関連機器設置
- 47. 3 第2期工事(本館研修棟)竣工 教育工学機器設置
- 47. 5 滋賀県総合教育センター竣工開所式
- 48. 2 フーコー振り子設置
- 48. 7 プラネタリウム設置
- 49. 3 天体望遠鏡設置
- 50.10 第54回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(化学部会)開催
- 51. 3 昭和50年度全国産業教育センター所長協議会情報処理教育部会開催
- 54. 9 第83回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(初等理科部会)開催
- 54.12 教育工学機器更新
- 55. 1 中型電子計算機システム更新(FACOMM-160S)
- 56. 1 総合気象観測装置等の設置、理科関係備品充実
- 56. 6 全国教育研究所連盟学校経営協議会開催
- 57.10 自動製図機設置
- 58. 5 中型電子計算機システム更新(FACOMM-160F)

- 58.10 昭和58年度都道府県指定都市教育研究所長協議会総会並びに研究発表大会開催
 - 58.10 第117回全国理科教育センター研究協議会総会
 - 61. 6 全国産業教育センター所長協議会開催
 - 61.10 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(生物部会)開催
 - 63. 6 全国教育研究所連盟事務能力率化研究協議会開催
 - 63. 7 新館建築工事および本館改修工事着工
- 平成
- 元. 5 新館および本館竣工式
 - 2.10 全国理科教育センター研究協議会・研究発表会開催
 - 3. 3 創立20周年記念誌発行
 - 7. 7 全国情報処理教育センター指導者協議会第29回滋賀大会開催
 - 8. 3 教育用ソフトウェアライブラリーセンター設置
 - 8. 6 全国教育研究所連盟総会・研究発表大会開催
 - 9.12 自動気象観測装置、静止衛星「ひまわり」画像受信装置、走査型電子顕微鏡設置
 - 10.10 平成10年度全国教育研究所連盟「学校不適合・教育相談、環境教育、情報教育」等研究協議会開催
 - 11. 3 教育情報衛星通信ネットワーク(エル・ネット)の設置
 - 12. 4 創立30周年記念所報発行
 - 13.11 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表大会(物理部会)開催
 - 15. 7 都道府県指定都市教育センター所長協議会総会・研究協議会開催
 - 16. 8 出前研究発表会(安曇川・長浜)実施
 - 17. 5 カリキュラムサポート開始
 - 18. 5 総合教育センター運営協議会設置
 - 21.10 都道府県指定都市教育センター所長協議会初等理科部会開催
 - 22. 6 創立40周年記念所報発行
 - 23.11 第35回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会(滋賀大会)開催
 - 25. 4 学校支援事業として学力向上支援派遣開始
 - 27. 4 学校支援事業として学ぶ力向上支援派遣開始
小学校派遣研究開始
 - 28. 4 プロジェクト研究開始
 - 29.10 都道府県指定都市教育センター所長協議会物理部会開催
 - 29.11 近畿地区教育研究(修)所連盟発表会開催
 - 30. 4 サテライト研修開始
 - 31. 4 サポートバック研修開始
- 令和
- 2.11 全国教育研究所連盟研究協議会(滋賀大会)
滋賀県総合教育センター創立50周年記念開催
 - 3. 2 創立50周年記念所報発行
 - 3. 4 全館のトイレを洋式化改修
 - 3.11 創立50周年記念誌発行

案内図



〒520-2321 滋賀県野洲市北桜
 TEL 077-588-2311(代表)
 077-588-2312(資質向上係)
 077-588-2313(学ぶ力向上係)
 077-588-2511(科学教育係)
 077-588-2512(特別支援教育係)
 077-588-2513(情報教育係)

FAX 077-586-0011
 URL <http://www.shiga-ec.ed.jp/>
 E-mail ma30@pref.shiga.lg.jp

◇JR「野洲駅」から5.4km
 タクシー JR「野洲駅」から10分
 バス JR「野洲駅」から15分
 近江鉄道バス
 「花緑公園行き(希望ヶ丘西ゲート経由)」
 または
 「村田製作所行き(希望ヶ丘西ゲート経由)」
 ・総合教育センター前下車 南へ200m
 ・希望ヶ丘西ゲート下車 南へ370m

